

平成27年 6月3日

報道関係各位

平成27年度 第1回いわて3Dプリンタ活用研究会開催のお知らせ

岩手県内における三次元造形技術を活用した高付加価値製品の開発等を促進するため、下記のとおり第1回研究会を開催することとしましたのでお知らせします。

つきましては、当日の取材についてよろしくお願ひします。

記

1 開催日時

平成27年6月10日(水) 13:00～ (開場・受付 12:30～)

2 開催場所

ホテル東日本盛岡 3階 鳳凰の間

3 対 象

研究会会員を中心とした、県内企業・団体等

4 参加者

80名程度参加予定

5 開催内容

添付のプログラムを参照願ひします。

【問合せ先】 岩手県立大学地域連携室 TEL 019-694-3330 新沼、槻ノ木沢

平成27年度 第1回 いわて3Dプリンタ活用研究会

平成27年6月10日(水) 13:00～

ホテル東日本盛岡 3階 鳳凰の間

開催内容

1.代表挨拶・今年度活動方針説明 13:00～13:15

2.基調講演 三次元造形技術の活用に関する研究内容等の紹介

◆13:15～14:25 基調講演

近畿大学 工学部 ロボティクス学科 教授・近畿大学次世代基盤技術研究所 3D造形技術研究センター長 京極秀樹氏
テーマ「金属3Dプリンタの現状とデジタルマニファクチャリングにおける役割」

本講演では、主に金属に適用されているレーザーを活用した粉末積層溶融法及び溶融堆積法を中心に、装置開発や製品開発の最新動向とともに、現状の装置の課題と今後の展開について紹介する。また、2014年度に技術研究組合次世代3D積層造形技術総合開発機構(TRAFAM)を設立して実施されている、経済産業省「次世代産業用3Dプリンタ技術開発」のプロジェクト内容についても紹介する。

3.一般講演 三次元造形技術の活用事例等の紹介

◆14:30～15:15 一般講演① 一関工業高等専門学校 機械工学科 准教授 八戸俊貴氏

テーマ「一関高専におけるSolidworksと3Dプリンタとの連携による教育効果について」

本校では従来から授業や実習においてSolidworksを活用してきた。また近年安価な3Dプリンタが登場したため、3DプリンタUpPlus2を5台購入し平成27年度から5年生の実験にて活用することにした。

今回の内容は3D-CADであるSolidworksと3Dプリンタとの連携事例を紹介するとともに、企業における新人研修やこの分野における人材育成のための教育事例参照用資料として活用していただければと考えている。

◆15:30～16:15 一般講演② (株)JMC 代表取締役 CEO 渡邊大知氏

テーマ「3Dプリンターと工業用CTスキャナの活用とその事例」

JMCでは1999年に3Dプリンター出力サービスを開始した。3Dプリンタービジネスの先駆者として、その歴史と昨今の社会的な注目を踏まえた現時点における3Dプリンターの加工装置としての実力について、また新たに導入した工業用CTスキャナ、三次元測定機などが今後のビジネス展開にどのように結びつくのかについて解説。

◆16:20～17:05 一般講演③ (有)スワニー 代表取締役社長 橋爪良博氏

テーマ「3Dプリンタ活用事例 RPからDDMへ～デジタルモールド®技術が設計開発現場にもたらす課題と可能性」

製品設計、開発、試作、さらには製造現場でも活用が進む3Dプリンタ。設計開発現場で実践的なソリューションを展開し、実績を収めているスワニーが、3Dプリンタやそのソリューションのひとつであるデジタルモールドが設計・試作・小ロット生産シーンへもたらすメリットと限界について、現場の目線から国内の事例を交えながら紹介。

また、地域の製造業の活性を目的とした、製造業ご当地お土産プロジェクトや内職ワークスペースについても紹介。

4.その他

3Dプリンタの展示も予定しております。

丸紅情報システムズ(株)、(株)大塚商会、ローランド・ディー・ジー(株)